



楽 楽



2013-10-12 発行
平成 25 年 10 月号
広報担当：酒井



<http://www.asahikonsei.com/>

◆練習スケジュール

◆ 月／日	会 場	時 間	備 考
10 月	12 日（土）	旭丘公民館	19：00～21：00 ◆ヴォイトレ男声対象(18：00～)
	19 日（土）	中央公民館 305 音楽室	〃
	26 日（土）	旭丘公民館	〃 ◆男声パート練習（18：00～19：00）
	27 日（日）	〃	14：00～16：00 特練（17 時より懇親会 江戸芝）
11 月	2 日（土）	〃	19：00～21：00
	9 日（土）	〃	〃
	10 日（日）	第 32 回尾張旭市民音楽祭	
	16 日（土）	旭丘公民館	19：00～21：00 ◆男声パート練習（18：00～19：00）
	23 日（土）	〃	〃
	30 日（土）	〃	〃
12 月	7 日（土）	〃	〃
	14 日（土）	〃	〃
	21 日（土）	〃	〃
2014 年 1 月	5 日（日）	新年会（只今計画中）	
	11 日（土）	旭丘公民館	19：00～21：00
	18 日（土）	〃	〃
	25 日（土）	〃	〃

◆第32回 尾張旭市民音楽祭 <参加要項>



日時：11 月 10 日（日）

11:25 中央公民館 305 号室前集合（衣装に着替えて集合）

11:35～12:05 発声

12:10～12:30 あさひのホール待機

12:35～12:50 本番（舞台下手より入場、上手へ退場）

※大ホール入口辺りで先生より講評をいただき、その後 解散。

《演奏曲》 ① Gloria in excelsis Deo、② Sanctus、③ Agnus Dei I

《衣 装》 男声…上 白ワイシャツ、青・紺系ネクタイ（無地に近いもの）

下 黒ズボン・黒ベルト・黒ソックス・黒靴

女声…上 白ブラウス（ユニフォーム）

下 黒ロングスカート・黒スットキング・黒靴

※着替え室 男性 中央公民館 205 号室 女声 中央公民館 206 号室

※鍵はかかりませんのでご了承ください。



特別寄稿 「広報“楽楽”」創刊 200 号に寄せて ～その 2～

松本 義明

創立当時は、日曜の午後 2 時～4 時の間、私達もまだ若く子育て時代で、子連れで気楽に歌っていました。演奏会の意識など全くなく、仲間と家族ぐるみの付き合いや歌うことを楽しんでいました。全団がそんな雰囲気でした。一方では合唱団作りに向けても、以下の通り積極的に活動しています。1988 年 7 月 3 日号では尾張旭地区で活動する 5 団体（旭混声、旭女声、コール・アモーレ、コーロ・フローラ、ひまわり）の代表者会議の結果を以下の通り報告しています。

1. S64 年 2 月の尾張旭市民音楽祭に出演する。（互いに聴きあえるよう時間を調整する）
2. S64 年 5～6 月を目途に合同演奏会を開催する。（あさひのホールを予約する）
3. 参加可能な団体で交流会を行う（時期、場所未定）と報じています。

そして当面の練習曲を発表、「鶴」「前線にも春が来た」「飛べよ鳩よ」「モスクワ郊外の夜は更けて」「オーラリー」「赤とんぼ」「マイボニー」が挙げられていますし、イベントも以下の通り。

1. 初心者向け講習会（発声の基礎、楽典等）酒井敏行さんの手書きテキストにて）7/16 以降実施
2. 夕森高原でのキャンプ（家族、友人、知人大歓迎）8/13～14 大盛況でしたが参加人数は不明。
3. ホームコンサート（名フィル バイリン水野敏子さん、ビバ西岡さん）10/8 に古田邸で実施。

この頃、現在の団長の合瀬弘正さんが入団されています、翌年の 1989（S64）の 5 月に名音大の照喜名先生を迎え、ピアニストに水野みかさん、石川ひとみさんのダブルキャストで揃え、創立 3 年を前にして高いレベルを目指す意欲が感じられます。またこの年の 11 月 26 日付の名簿には早澤さん夫妻の名前も見えています。

1990 年(H2)は、創立 5 周年を迎え、団長に酒井敏行、副団長に合瀬弘正、松本恵美子、技術に古田和則、会計に長谷川紀夫、中畑チズ子、渉外に石原昭二の各氏で、第 1 回の演奏会を計画し予算案を 4 月 21 日号で発表しています。

第 1 回の演奏会は「あけぼの合唱団」とのジョイントで 1990 年 11 月 25 日に尾張旭市文化会館ホールで開催。プログラムは以下の通りです。

- 1st : 「愛歌曲集」より 赤とんぼ 汽車ポッポ アヴェマリア すずしきうなじ 夜の歌
 2st : 「ロシアの歌」より ともしび 私を責めないで ヴォルガ下り 鶴 前線にも春が来た
 3st : あけぼの合唱団〔賛助出演〕 白いブランコ 大きな古時計 翼を下さい 桃花源 他 3 曲
 4st : 「水のいのち」全曲（雨、水たまり、川、海、海よ）
 アンコール：フィンランディア（旭混声）小さいぐみの木（合同演奏）

演奏終了後、ベースの早澤さんの主導でロビーコールを実施したことが強く印象に残っています。

12 月 2 日号で第 1 回演奏会の成功を伝え、歌った人の感想と会場でのアンケートのまとめが B 5 版の立派な感想文集と資料集として発行されました。そして早くも次回の演奏会に向けて「海鳥の詩」を取り上げて発表しています。また '93 年の団長になる秋田松次さんがこの 6 月の名簿に載っています。1991 年(H3)3 月 10 日号は新役員を紹介、団長：合瀬弘正、副団長：松本恵美子、中畑チズ子、技術：秋田松次、会計は平田和恵、四宮史子の各氏を選出。この頃、練習会場が本地ヶ原公民館から現在の旭丘公民館主体となり、4 月 13 日号で新入団員の歓迎会を中央公民館の 2 階「亀の間」で実施、驚くなかれ、この 1 年間に 12 名の新人を迎えています。誌面では「只今団員が 50 名を突破しました。まさしく合唱団らしくなってきました！」とあり 4 月～6 月の 3 ケ月間の練習日程を掲載しています。

6 月 8 日号は「海鳥の詩」の簡単な解説と第 7 回の瀬戸合唱フェスへの参加要領、8/10 の濁池でのバーベキューへの参加の呼びかけ、照喜名一男とチェロ&ピアノトリオの演奏会のお知らせ、アグア



ヨと子供達による器楽演奏会のPRなど、盛り沢山の内容が記載されています。この頃団内でテニス同好会が出来、毎週のように濁池のコートで汗を流していました。後に指揮者となる松井俊彦先生や、ピアニストの石川ひとみ先生も時々お見えになり、一緒に汗を流した後、一緒に飲んだビールの味は格別でした。11月9日号では、美和エコー（照喜名先生指揮）から熱いラブコールで、ジョイントを是非にとのお誘いがあり翌年(1992年)の5月31日（日）名古屋市の中村文化小劇場を予約済とのお話があったと記載されています。この頃テノールの酒井さんが会社業務多忙のため休団されています。

1992年(H4)第2回演奏会として「美和エコー」とのジョイントコンサートは5月31日名古屋市中村文化小劇場で開催、旭混声は組曲の「海鳥の詩」、ロシア歌曲の「ともしび」「モスクワ郊外の夕べ」「ヴォルガ下り」「道」「鶴」「前線にも春が来た」を、美和エコーは「愛唱歌集のステージ」と、「中田喜直曲集」を演奏しました。

1993年(H5)3月27日、広報11号で新役員を発表。団長：秋田松次 副団長：槌橋研、古田実智子、松本恵美子 技術：古田和則、合瀬弘正、会計：吉岡克實の各氏です。第3回の演奏会を瀬戸信エンゼルホールにて、美和エコー賛助出演を受けて実施、瀬戸合唱フェスティバル出演、尾張旭市民音楽祭出演、することを報じています。4月24日号では副団長3名の分担を槌橋：渉外、松本（恵）：総務（会計の補佐も含む）、古田（実）：広報、書記としています。第3回演奏会を7月25日、瀬戸信エンゼルホールで照喜名先生の指揮、石川ひとみさんのピアノで、1ステ：林 光編曲の「日本抒情歌集」2ステ：廣瀬量平作曲「海鳥の詩」3ステ：美和エコーで「雪野原」「湖とちぎれ雲」心の四季より「風が」「瞳」「落葉松」4ステ：旭混声で佐藤真作曲「旅」を演奏しています。私は1991年の8月から1993年の9月まで東京での単身赴任中でほぼ毎週末には名古屋に帰っていましたが、この頃の詳細は自信がありません。そしてこの演奏会には出演出来ませんでした。

1994年、(H6)、3年間指揮をお願いした照喜名先生が、大学の仕事、海部交響楽団、江南オーケストラの指揮に加え美和エコーの指揮と非常に多忙となり、9月の瀬戸合唱フェスティバルのステージを最後にお別れする事となり、後任の指揮者として名古屋二期会のオペラ歌手、滝沢博先生に決まりました。

1994年(H6)5月7日24号は役員を紹介しています。

団長：秋田松次、副団長：槌橋 研、松本恵美子、古田実智子、技術委員長：合瀬弘正、副：古田和則、会計：長谷川紀夫の各氏で、5月8日に緑化センター昭和の森へのハイキングを呼びかけています。

5月29日25号では9月の瀬戸合唱フェスティバルに向けた実行委員会の報告と次回の演奏会として美和エコーとのジョイントを新装の美和町文化会館で計画中、10周年記念演奏会の企画に着手する事を伝えています。

瀬戸合唱フェスティバルでは高田三郎作曲の「心の四季」1, 2, 6を滝沢先生の指揮で、尾張旭市民音楽祭では松井先生の指揮で「心の四季」より2, 3, 4, 5を演奏しています。

1995年(H7)2月25日35号で今後のステージ活動について

◇美和エコー演奏会の賛助出演 1ステージを受け持つ、ブラームス「愛の歌」より数曲、
アンコールは合同演奏で「前線にも春が来た」「ヴォルガ下り」

◇瀬戸合唱フェスティバル ブラームス「愛の歌」より数曲

◇10周年記念演奏会 96年の秋ごろを予定「心の四季」「ブラームス 愛の歌」で各々1ステージ
他に2ステージの合計4ステージの計画を伝えています。

次号につづく（11月～12月完結予定）



★突撃インタビュー★

**8月に入団されましたベースの近藤新二さんです。
お優しい笑顔がとても印象的です。
10月の懇親会でお話できるのが楽しみです。**



《自己紹介をお願いします》

私は、昭和23年3月生まれのいわゆる団塊の世代の現在65歳です。生まれは名古屋市北区の杉村町というところで、60年近くそこに住んでいました。

生後10ヶ月のときにポリオに疾患し、全身小児麻痺のため3歳ころまでは殆ど寝たきりの状態であったそうです。たまたまそのころ開業していた有名な鍼灸師に治療を受けたところ、数日で寝返りが始まり徐々に起き上がり歩き始めたそうです。

無論、手足の一部に麻痺は残り健常者の子供のように走ったり投げたりはできませんでしたが、普通小学校に入学するのを1年遅らせただけで、小学校時代には、不自由ながら、友達と野球をしたり遊んだりはできるようになっていました。中学校時代には片道約1・5キロの通学を友達と一緒に歩いて通えるようになり、このころから、自分は走る以外に周りの友達と一緒になんだ、という気持ちで生活するようになっていました。高校、大学へと進み、今の子供たちのように就職に悩むこともなく、昭和46年に尾張旭市役所に就職しました。

市役所での仕事は、福祉畑と税務畑を半分くらい経験しました。後半に長く市民税を担当した関係で、旭にお住まいで確定申告会場にお越しになった方は、どこかでお目にかかったことがあるかもしれません。

一方、体の方は40歳代に入ってから長い距離は歩きにくくなり、階段も手すりがないと昇降できなくなりました。今考えればポストポリオという病気の症状が出始めていたと思います。（※ポストポリオシンドローム：ポリオに疾患し、30年から40年経過後、筋肉を動かす神経細胞が過労により死滅し徐々に筋肉を動かすことができなくなる病気といわれています。）

50歳代半ば頃には、妻に自宅から瀬戸線の尼ヶ坂駅まで車で送迎してもらって通勤していました。さらに定年退職前後に2回の右足大腿部の骨折を経験し、2回目の骨折により歩くことができなくなり、車いすでの生活が始まりました。車いすで普通に生活することができるようなバリアフリーの住居が必要になり、今から4年前に名古屋から尾張旭に引っ越して来ました。

こちらに来てからは、尾張旭の社会福祉協議会などに車いすで勤務する傍ら、ヘルスケア関連団体ネットワークの会（VHO-net）、愛知障害フォーラム（ADF）、ポリオ友の会東海などの障害者・難病患者の患者会に参画して活動しています。今年3月には、社会福祉協議会を退職した関係で、これらの患者会の活動の仕事が多くなり、土日などの休日に関連行事を行うため、時々合唱団の練習に参加できないことがあります。

長く続けている趣味は囲碁です。職場の昼休みの暇つぶしに始めたのがきっかけでした。40年近く続けていますがなかなか上達しません。近年は肩の筋肉が衰えてきて碁盤に碁石を並べることが出来なくなってきたため、日本棋院の「幽玄の間」というネットでの対局がほとんどです。ネットでの対局は、24時間、いつでも世界中の人と自宅で対局できます。碁力は調子が良い時は五段で打ちますが、ほとんど四段で打っています。





合唱との出会いは高校1年生の時で、友人に誘われ、なんとなく音楽部に入ったのがきっかけでした。その音楽部は私にとって、思いのほか練習のきついところでした。2年生の時からはNHK音楽コンクールに参加するということで、夏休み期間中冷房設備のない音楽室で、ほぼ毎日、課題曲などを歌わされました。そのような中で、合唱のハーモニーの美しさ、声を出して歌うことの素晴らしさ、団員の連帯感などを勉強しました。

大学でも男声合唱団に入りました。当時は学園紛争の真っただ中で、しばしば学生運動家たちによる大学のバリケード封鎖が行われましたが、そのような中でも定期演奏会が近い時には、彼らに説明し、大学の中で（勉強もせずに）合唱の練習だけはしていたように思います。

社会人になってからも1、2年間は、合唱団で歌いたいという気持ちがあり、名古屋市内の2、3の合唱団に顔を出しましたが、仕事が忙しくなり（市役所の仕事は5時には終わりません）、練習会場も交通の便があまり良くない学校や幼稚園であったため練習に参加できなくなり、合唱を止めざるをえなくなりました。

以来40年以上、合唱とは離れていましたが、今回、あらためて旭混声合唱団に入ろうと思った動機は、65歳になり少し時間に余裕ができ、もう一度合唱のハーモニーに触れて思い切り大声で歌ってみたいと思ったのと、車いすでの生活で体の姿勢がどうしても悪くなりますので、歌うことにより少しでも姿勢を矯正したいと思ったからです。長く歌ってこなかったため、リズム音痴（昔から）があり思うような音域の声も出せません。車いす団員でするので皆さんにご迷惑をおかけすることもあると思いますが、できるだけ皆さんの足を引っ張らないように心掛けて歌いますのでよろしくお願いします。

《団には将棋がご趣味という方がおられます。囲碁の方はどうでしょうか。対局のお相手が見つかるといいですね。(*^*)植村》



★特別練習及び懇親会のお知らせ

※先月号で既報済です。



◆日 時： 10月27日（日）

14:00～16:00 特練場所 於：旭丘公民館

17:00～ 懇親会及び歓迎会

◆懇親会場：江戸芝（尾張旭市本地ヶ原町2-5 TEL：0561-54-9814 駐車場あり）

※練習会場に江戸芝さんから16:30頃お迎えがあります。

◆会 費： 4,000円（飲み放題）

<新入団の皆さん>

水野 喬之さん（T）	2月入団
藤田 邦江さん（S）	6月入団
森 ゆき子さん（S）	6月入団
近藤 新二さん（B）	7月入団





♪ コンサート情報 ♪

スイーツタイムコンサート

＜宗次ホール × 一宮市 三岸節子記念美術館 提携企画＞

ヴェネツィアへの音楽の旅

ヘンデル 組曲「水上の音楽」より
 ヴィヴァルディ 「和声と創作への試み」より ”四季”
 ヴァイオリン協奏曲へ長調「秋」RV.293
 モーツァルト セレナード 第13番 ト長調
 「アイネ・クライ・ネナハトムジーク」K.525 他

演奏：ひとはな四重奏団

富久田治彦(フルート) 山本直人(オーボエ)
 矢口十詩子(ヴァイオリン) 石川ひとみ(ピアノ)

- ◆日 時：2013年11月6日(水) 開場 13:00 開演 13:30
- ◆場 所：名古屋市中区栄 宗次ホール
- ◆チケット：一般自由席 2,000円 指定席 2,200円

Munetsugu Hall
 Sweets Time Concert
 スイーツタイムコンサート
 お手頃価格で上質な午後のひと時を過ごしたい方へ
 後のコンサートへ出掛けつらい方へ、ぴったりのコンサートです。
 宗次ホール × 一宮市 三岸節子記念美術館 提携企画

三岸節子が描いた
 ヴェネツィアの風景画を
 映像と共に楽しむ

ヴェネツィアへの
 音楽の旅
 一宮市と一宮市・友好都市提携記念コンサート

ヘンデルの組曲「水上の音楽」より
 ヴィヴァルディの「和声と創作への試み」より「四季」
 ヴァイオリン協奏曲へ長調「秋」RV.293
 モーツァルトのセレナード 第13番 ト長調
 「アイネ・クライ・ネナハトムジーク」K.525 他

ひとはな四重奏団
 富久田治彦(フルート) 山本直人(オーボエ)
 矢口十詩子(ヴァイオリン) 石川ひとみ(ピアノ)

2013年 11/6(水)
 13:30 開演 13:00 開場 (15分前開演)
 チャリティシート (指定席) 指定公演 A 別7番〜17番、B 別7番〜18番 ¥2,200
 一般の会費は別表 8月4日(日)、一般発売 8月11日(日)

宗次ホールチケットセンター TEL:052(265)1718
 営業時間:10:00〜18:00 年中無休 (年末年始、臨時メンテナンス日を除く)

宗次ホール

尾張旭市民合唱団

第8回ニューイヤーコンサート

第Ⅰ部：混声合唱のためのヒットメロディー HANA

指揮：吉川 明 ピアノ 片山奈津
 ドラムス 山 寛樹 合唱 尾張旭市民合唱団

第Ⅱ部：おきらく Quartet Flying Doctor

Unoio(ソプラノ鍵盤ハーモニカ、パーカッション)
 YUIPU(アルト鍵盤ハーモニカ、ヴァイオリン)
 Chi-chan(アルト鍵盤ハーモニカ、作編曲)
 CHIKKY(バス鍵盤ハーモニカ、ピアノ)

第Ⅲ部：混声合唱 ディズニー合唱曲集より 美女と野獣

指揮：吉川 明 ピアノ 片山奈津
 合唱 尾張旭市民合唱団

- ◆日 時：2014年1月18日(土) 開演:15:00 開場 14:30
- ◆場 所：尾張旭市文化会館ホール
- ◆チケット：おとな 1,000円 高校生以下 800円

平成25年度自主文化事業

尾張旭市民合唱団

第8回ニューイヤーコンサート



平成26年1月18日(土)

尾張旭市文化会館 ホール

15時開演 14時30分開場

入場料：全自由席 おとな/1,000円 高校生以下/800円 未就学児の入場はお断りします。

企画・構成・指揮 吉川 明	鍵盤ハーモニカ Flying Doctor	ピアノ 片山 奈津	ドラムス 山 寛樹
第Ⅰ部 混声合唱のためのヒットメロディー HANA	指揮 吉川 明 ピアノ 片山 奈津	ドラムス 山 寛樹 合唱 尾張旭市民合唱団	●入場券の発売 発売開始 11月18日(土) 発売時間 午前9時〜17時 ※全席指定 (15歳以下は1名1席) 定価 文化会館観覧席 (1,000円) は抽選となります。 (抽選券) 14歳以下は11月18日(土) 午前9時〜17時 に文化会館で抽選となります。抽選結果は当日発表。 ※抽選の抽選は、当日の抽選結果により異なります。
第Ⅱ部 おきらく Quartet Flying Doctor	Unoio(ソプラノ鍵盤ハーモニカ、パーカッション) YUIPU(アルト鍵盤ハーモニカ、ヴァイオリン) Chi-chan(アルト鍵盤ハーモニカ、作編曲) CHIKKY(バス鍵盤ハーモニカ、ピアノ)	第Ⅲ部 混声合唱 ディズニー合唱曲集より 美女と野獣	●抽選券 文化会館観覧席 1,000円 抽選券 200円 (抽選券は1枚限り) (抽選券は1枚限り)